

Русский костюм 1750—1917 в пяти выпусках; материалы для сценических постановок русской драматургии от фонвизина до Горького [Illus.: В. Козлинский] [Text: Е. Берман и Е. Курбатова]

Москва, Всероссийское Театральное Общество, 1960. (文献番号 3—286)

ロシアの服装 1750—1917年 全5巻 ; フォンヴィージンからゴリーキイに至るロシアの戯曲を上演するための資料

18世紀中期から20世紀初頭までのロシアの様々な階級服と民俗衣装を収めたロシア服飾図鑑である。本書は、同時代を背景とするロシアの戯曲を上演する際、必要な演劇衣裳の手引書として舞台美術関係者のために編さんされているが、単に演劇資料としてばかりではなく、ロシアの服飾に関する図解事典の役割もかねている。また、それぞれの時代の生活様式や風習、服装に及ぼした社会的、あるいは宗教的な影響を文芸作品の例を引用しながら解説しており、帝国ロシアの風俗や19世紀ロシアの小説の具体的背景を知る上でも参考になる。図版は各種モード誌、肖像画、絵画、博物館や美術館のコレクション及び諸外国の服装史、回想録、私信類など広範な資料から選ばれており、更には各時代、地方で最も特徴的な衣服の細部にも触れている。5巻本で、第1巻は1750年から1830年、第2巻は1830年から1850年、第3巻は1850年から1870年、第4巻は1870年から1890年、第5巻は1890年から1917年となっている。各巻の冒頭には時代背景を含む服装史の概要、女性の服装、男性の服装、民俗衣装などを概観し、続いて、その時代の貴族や上流社会における都会的なモード、商人、町人、農民、労働者など階級服や用途別の服装が右頁に図解、左頁には、それらの服装の特徴や配色、裁断法などが詳細に説明してある。図版は一そろいの服装図ばかりではなく、例えば、ズボン、スカート、コルサーージュや各種の袖、帽子、アクセサリなどの個々の衣服やその部分及び付属品についても描いてある。こうした詳細な図解は 舞台美術の衣裳考証や各自の創造的企画に合致した登場人物の衣裳デザインを工夫するのにも有益であろう。参考文献も詳細で全巻共通資料——辞書と参考書、一般的な服装史に関する文献、18世紀、19世紀のモード史、ロシアの民俗衣装の歴史、定期刊行物——と、各巻ごとの資料にわけて豊富である。

本書はコズリーンスキイの挿画、演出家であるルイーンジンの編集で全ロシア演劇協会から刊行された。日本語訳本『ロシアのコスチューム』(文献番号 3—286—②) は本書の完訳本で、図版も色刷りを含めてそのままに再現している。また、原書にはない図版索引が5巻に別刷りとして添えられ、ロシアの服飾用語辞典としても活用できる。服飾用語の表記について、訳者は、民俗衣装については、できるだけ原語の発音通り片仮名で表記し、西欧からの外来モード用語は自国の中で変化して使用されている場合でも、原語にひきもどし、外国語の発音通りに表記してある。